



想い出の 昔・町なみ スケッチ帳

*Machiya Machinami
Sketchbook of Memories*

『想い出の 昔・町なみ スケッチ帳』制作にあたって

本書に掲載されたスケッチは、堺環濠都市北部地区*内(および、地区に隣接する地点を含む)の町家や町なみです。描いたのは、この地区出身の木谷實さんで、定年退職後の平成6年頃から熱心に絵画活動に取り組まれています。ちょうど絵画活動を開始された頃、懐かしい町なみが失われつつありました。それを惜しんだ木谷さんは、絵でその風情を残したいと思い、水彩画の町なみのスケッチを今日まで精力的に描かれて来られました。

堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会では、この地区の歴史的な町なみを残し、未来に活かすための取り組みを進めていますが、木谷さんが町なみのスケッチを描かれる想いは、まさしく私たちの想いと通ずるものである事から、木谷さんのご協力のもと、本地区的風景画集を制作する事にしました。このスケッチ帳を通して、多くの方々に、私たちの想いや地域に残る歴史的な町なみの魅力を知っていただきたいと考えています。

*堺環濠都市北部地区

自由都市、自治都市として名高い中世の堺の町(中世の環濠都市)は、江戸時代の初め、大坂夏の陣の際に、灰燼に帰しました。その後、堺は徳川幕府の直轄領となり、新たに三方に濠(いわゆる「土居川」)が掘られ、碁盤目状の街路や短冊形の街区等も整備されて(元和の町割り)、新しい近世の環濠都市に生まれ変わりました。この近世の環濠都市は、そのまま、江戸時代から近代へと引き継がれて来ましたが、1945年(昭和20年)、第2次世界大戦末期の堺大空襲のため、大部分が焼失しました。しかし、この堺環濠都市の北部地区は、幸運にも戦火を免れ、江戸時代から戦前までに建てられた町家などの貴重な歴史的建造物が、現在も多く残されています。

ちなみに、この地区的江戸時代から続く貴重な歴史的町なみを保存・再生・活用するために設立された民間団体が「堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会」で、堺市と協力しながら、「江戸時代の町割りを活かした環(わ)をはぐくむまちなみ」をキャッチフレーズに様々な活動を行っています。

＜目次＞

『想い出の 昔・町なみ スケッチ帳』制作にあたって	... 1	画家・木谷實さんのこと	... 30
地区のスケッチ	... 2-27	編集後記 ワークショップの経過	
個別スケッチの位置(地図)	... 28	『想い出の 昔・町なみ スケッチ帳』完成に際して	... 31
個別スケッチ索引	... 29	昭和20年頃の綾之町西3丁・木谷家隣組の町なみ	... 32-

1

旧七道駅〔三宝町〕



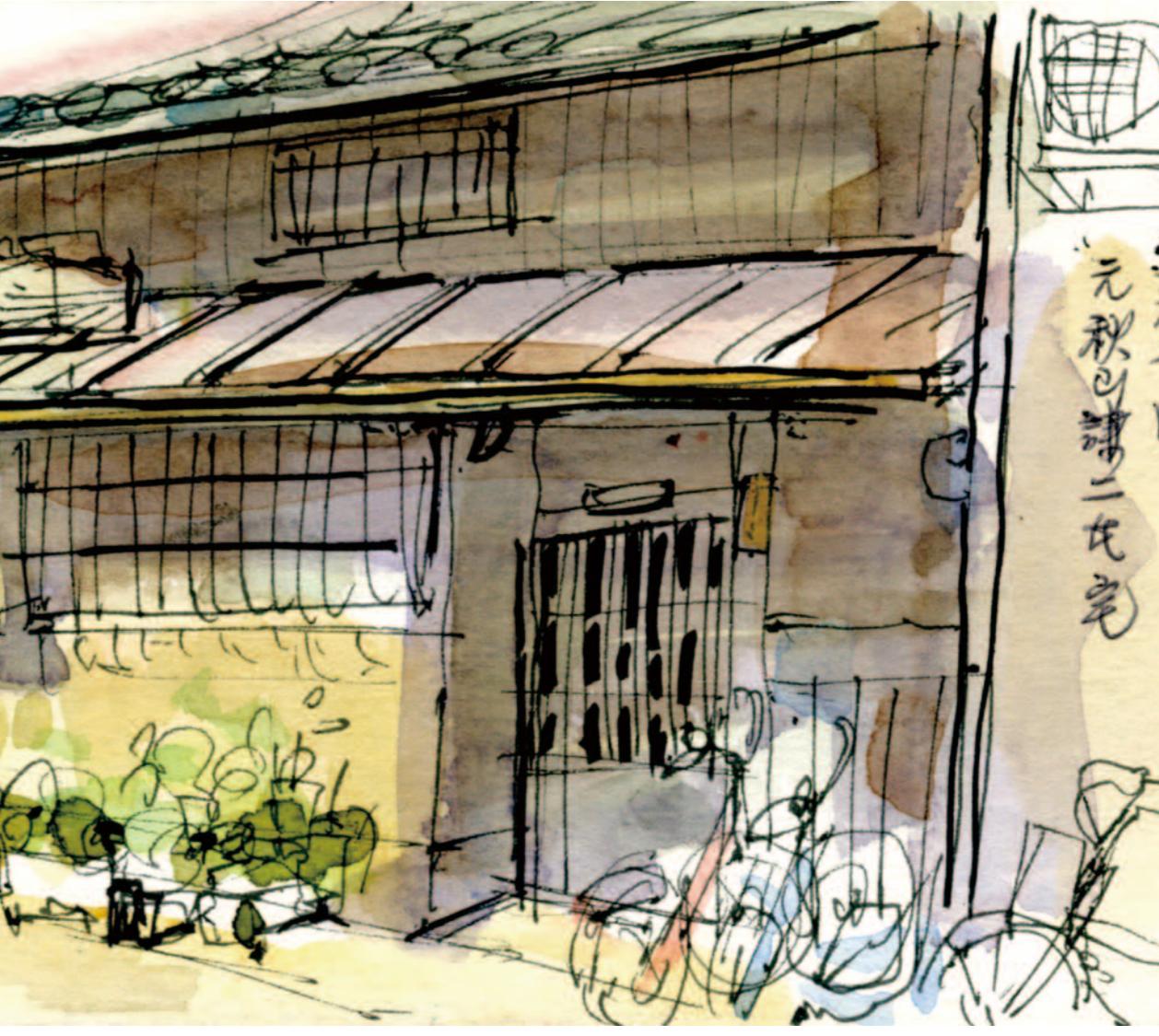
内川の北端・江川橋を西へ渡った所にあった駅。

「昔づくりの高架トンネル。駅名板もかわいい。」「春になると、線路の土手にヨモギやツクシを摘みに行った」

2

2

お旅所近くの町家〔北旅籠町〕



3

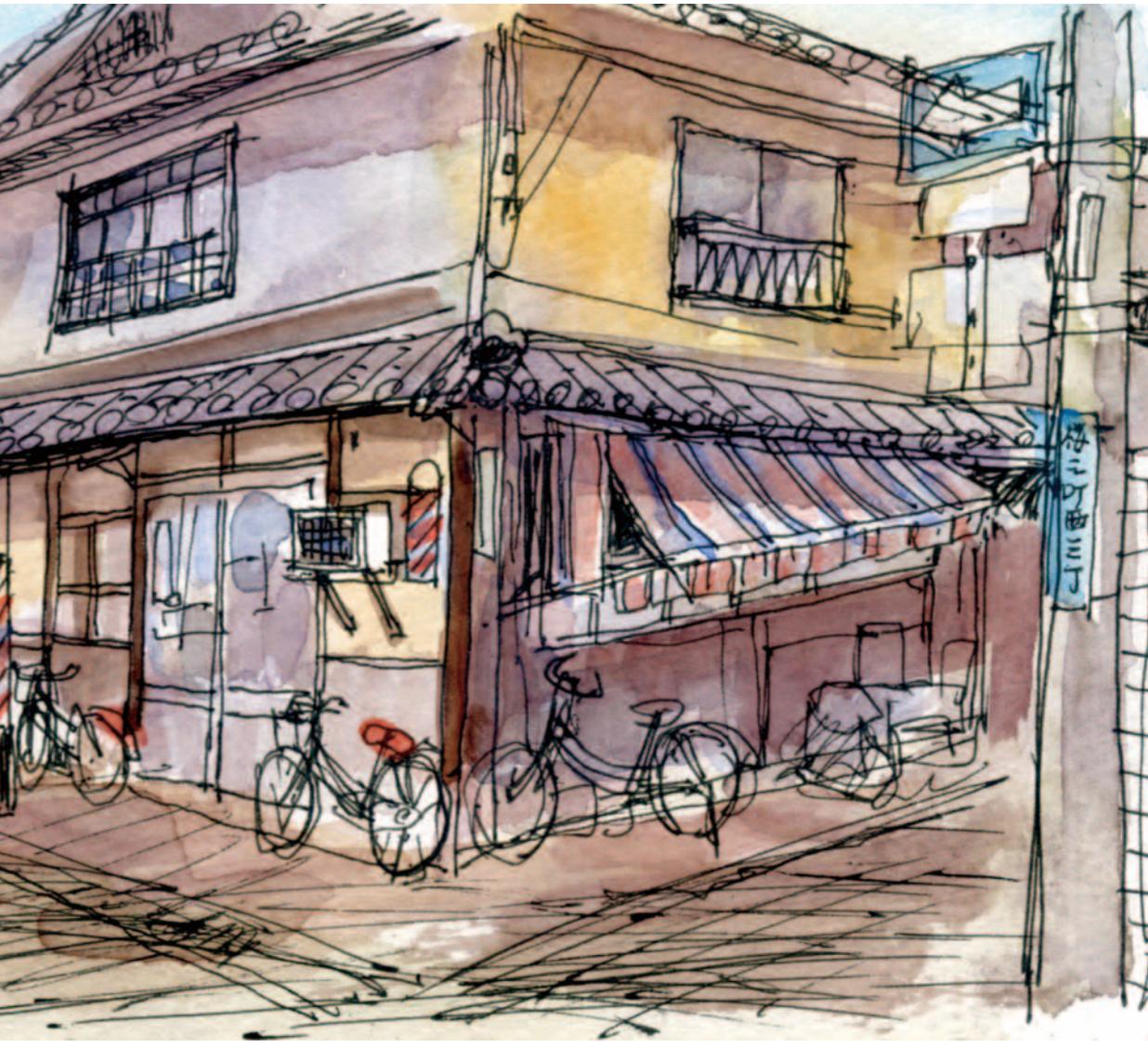
3

魚屋さん[北旅籠町西]



4

散髪屋さん[桜之町西]



六間筋の角で、北に行けば河口慧海の生家跡。

5

チン電の線路際の町家〔北旅籠町東〕



「家中にいても、電車の音が聞こえてくるよう。」

6

高塀造りの町家〔北旅籠町東〕



「りっぱで誇らしくなるような、印象的なまちかど」

7

自転車屋さん「桜之町西」



「最盛期、自転車の組み立て製品が山のように届けられていた。」

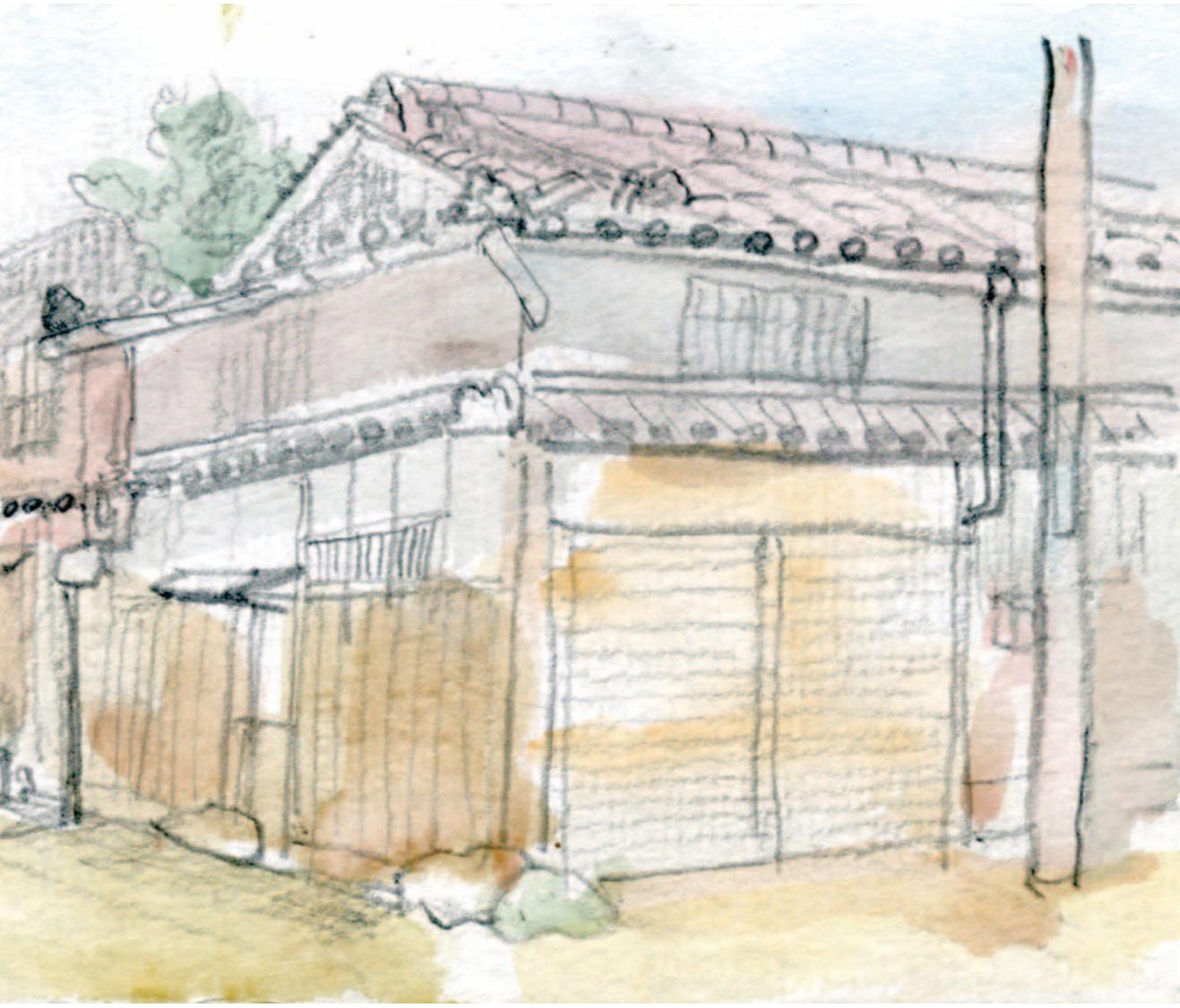
8

表屋造りの町家「桜之町西」





「以前あった桜館という芝居小屋の一部が、お好み焼き屋さんになった。」



「この家は戦後、アイスキャンディなどを売っていた。」

11

大多福湯「綾之町西」



この地区にあった、最後の銭湯。「復活してほしい！」

12

12

隣の町家「綾之町西」



13

六間筋(ろつけんすじ)「桜之町西」



「この筋の東南角に、おばちゃんの駄菓子屋があった。」

13

14

材木商「桜之町西」



15

軒の深い町家「桜之町西」



14、15は西向きの同じ並びの家。「小さい頃、この筋には、紙芝居のおっちゃんが自転車でやってきた。」

16

格子の長屋「綾之町西」



17

窓に目隠しのある町家「綾之町西」



18

内川橋〔綾之町西〕



「綾之町のなくなるところ(西の端)にある橋」「この橋を渡ってしばらく行くと、三宝の風車があった。」

16

19

箱軒の町家〔綾之町西〕



17

20

煙出しのある町家「錦之町西」



21

レンガタイルが映える高塀の町家「錦之町西」



22
23

バス通り沿いの箱軒の町なみ



22



23.「このタバコ屋さんを曲がると来迎寺さん。」

20

24

阪堺線綾ノ町電停「綾ノ町東」



「堺で阪堺線のある景色といえば、ここ！」「綾之町は堺の中心。チンチン電車は堺の歴史！」

21

25

和菓子屋さんのある町なみ「綾之町東」



「丸福の“おはざ”は絶品だった。」「この路地の奥には、どんな町なみがあるのだろう？」

26

錦綾橋の東側の町なみ「錦綾町」



錦綾橋は綾之町の東端、土居川にかかっていた橋。

27

大きな虫籠窓のある町家「柳之町東」



「横長の虫籠窓の存在感が大きい。」

28

蔵のある高塀造りの町家「九間町東」



蔵が二つあり、入り口横に石碑のある旧家。

西本願寺別院(御坊さん)「神明町東」



「その昔、3月になると“宮城野部屋”的幟がはためいていた。」

山之口筋の町家「宿屋町東」



手前の家は、元医院。

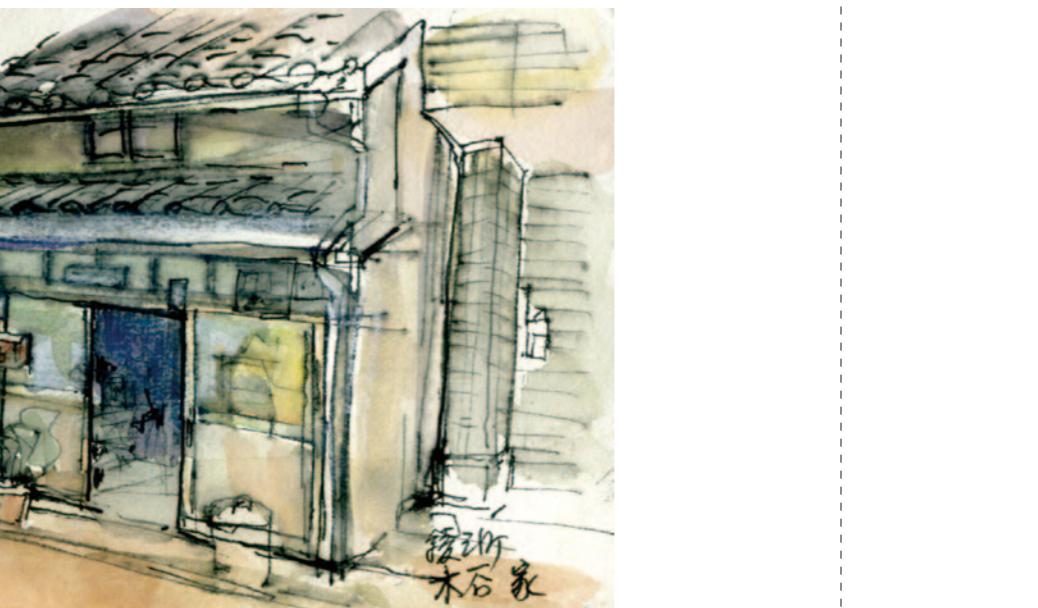


個別スケッチ索引

1. 旧七道駅 [三宝町] P2
2. お旅所近くの町家 [北旅籠町] P3
3. 魚屋さん [北旅籠町西] P4
4. 散髪屋さん [桜之町西] P5
5. チン電の線路際の町家 [北旅籠町東] P6
6. 高塀造りの町家 [北旅籠町東] P7
7. 自転車屋さん [桜之町西] P8
8. 表屋造りの町家 [桜之町西] P9
9. 隅さりの町家 [桜之町西] P10
10. レンガの蔵のある町家 [桜之町西] P11
11. 大多福湯 [綾之町西] P11
12. 隣の町家 [綾之町西] P12
13. 六間筋(ろっけんすじ) [桜之町西] P13
14. 材木商 [桜之町西] P14
15. 軒の深い町家 [桜之町西] P14
16. 格子の長屋 [綾之町西] P15
17. 窓に目隠しのある町家 [綾之町西] P15
18. 内川橋 [綾之町西] P16
19. 箱軒の町家 [綾之町西] P17
20. 煙出しのある町家 [錦之町西] P18
21. レンガタイルが映える高塀の町家 [錦之町西] P19
22. バス通り沿いの箱軒の町なみ [綾ノ町西] P20
23. バス通り沿いの箱軒の町なみ [綾ノ町西] P20
24. 阪堺線綾ノ町電停 [綾ノ町東] P21
25. 和菓子屋さんのある町なみ [綾之町東] P22
26. 錦綾橋の東側の町なみ [錦綾町] P23
27. 大きな虫籠窓のある町家 [柳之町東] P24
28. 蔵のある高塀造りの町家 [九間町東] P25
29. 西本願寺別院(御坊さん) [神明町東] P26
30. 山之口筋の町家 [宿屋町東] P27



木谷家
綾ノ町西



本書に掲載しているスケッチを描いたのは、本地区の綾ノ町西出身の木谷實さんです。最初のページでも述べていますが、木谷さんが町なみのスケッチを始めたきっかけは、幼い頃から慣れ親しんだ懐かしい町なみが失われていくの大変残念に思った事でした。

これらのスケッチの最初の1枚は、近所の友人の家を描いて、地元を遠く離れた友人に送った一枚のハガキでした。本書に掲載された元のスケッチは、すべてハガキ大のサイズで描かれています。それは、木谷さんが多くの町なみを絵に残すためには、ハガキ大しかないと思われての事でした。

木谷さんは、最初の1枚を描かれた後も、友人や知人の家も度々描かれましたが、このページに掲載しているご自宅のスケッチも同様のお気持ちから描かれたものでしょう。なお、本書最後の見開きページの昭和20年頃の木谷家隣組の絵は、木谷さんが往時を思い出して描かれたものです。

絵が好きで、その道に進みたかったけれど、家庭の事情で就職され、定年退職後、絵に対する想いと町なみに対する想いが重なって、これらのすばらしいスケッチが生まれた事は、私たちにとって本当に幸運であったという

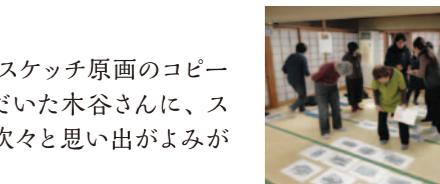
＜木谷 實(きたに みのる)さんのプロフィール＞

昭和9年5月27日(海軍記念日)、堺市に生まれる。地元の錦西小学校・月州中学校を卒業して、地元企業に就職。その後、大阪市立第2工芸高校図案科に学ぶ。絵画への情熱を持ち続け、定年退職後、絵画活動を開始。現在、堺市美術協会会員。今後、本格的に活動予定。

＜ワークショップの経過＞ 会場：錦西白寿荘（堺市立青少年センター2F）

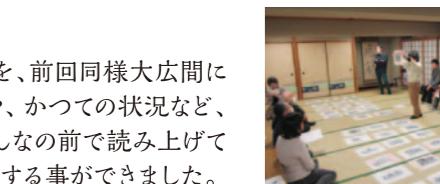
第1回ワークショップ 平成29年11月26日(日)

第1回目は、画集制作の目的を説明するとともに、白寿荘の大広間に木谷さんのスケッチ原画のコピーを並べて、参加者がいいと思うスケッチを選んでいました。また、参加していただいた木谷さんに、スケッチを描かれるに到った想い等もお聞きしました。参加者も懐かしい風景に、次々と思い出がよみがえって来て、話が弾みました。



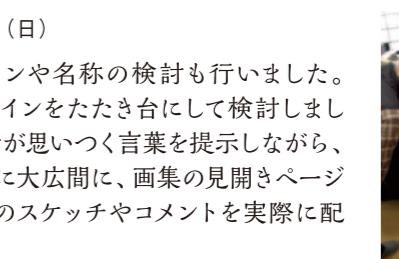
第2回ワークショップ 平成30年1月28日(日)

第2回目は、第1回目に選定したスケッチと新たに追加したスケッチ原画のコピーを、前回同様大広間に並べて、参加者が各自、それぞれのスケッチを見ながら、その絵にまつわる想い出や、かつての状況など、様々なコメントをカードに記載していました。そして、最後にすべてのコメントをみんなの前で読み上げて発表することによって、新たに様々な想いが付け加わり、それらを参加者全員で共有する事ができました。



第3回ワークショップ 平成30年2月18日(日)

最後の第3回目では、画集の表紙デザインや名称の検討も行いました。表紙のデザインでは、試作してもらったデザインをたたき台にして検討しました。また、画集のタイトルについても、参加者が思いつく言葉を提示しながら、表紙のイメージを想像しました。そして、最後に大広間に、画集の見開きページに見立てた用紙を順番に並べ、そこに個別のスケッチやコメントを実際に配置して、画集の構成を具体的に考えました。

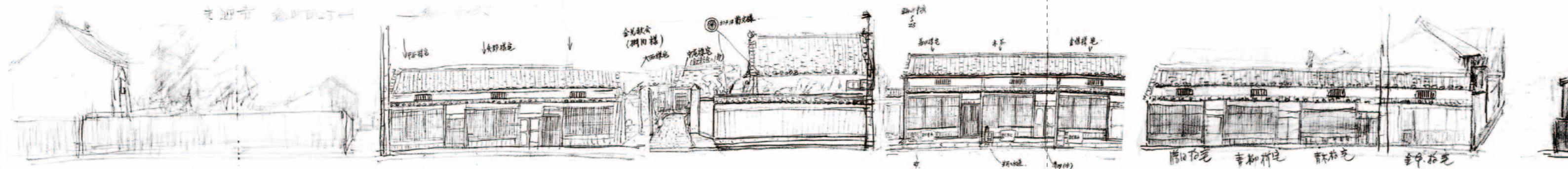


以上、合計3回のワークショップによって、画集の全体的なイメージが共有され、その後の編集作業に引き継がれました。

＜『想い出の昔・町なみ スケッチ帳』完成に際して＞

ワークショップを通じて、参加者みんなで、昔の町の想い出に浸り、今残る町なみの大切さを実感するとともに、変わりゆく町なみの様子を知る等、とても充実した時間を共有する事ができました。このようにして完成した本書は、それを見る方にとっても、私たちが経験したような想いを感じていただけるのではないかと密かに期待しています。

そして、今回の画集制作が可能であった第1の要因は、地元の画家・木谷さんの想いと、その精力的な絵画活動の成果である町家・町なみの水彩画が存在した事です。最後に、私たちの想いをも、絵という形で残していただいた木谷さんに、心から感謝申し上げたいと思います。



想い出の昔・町なみ スケッチ帳

文・編集 堀環濠都市北部地区町なみ再生協議会
絵 木谷 實
デザイン musubi design (藤木達三)
発行 堀環濠都市北部地区町なみ再生協議会
E-mail info@sakaimachinami.jp/
HP http://sakaimachinami.jp/

平成30年3月発行

本書の無断複写、複製、転載を禁じます。

本書の制作には、一部「町なみ再生基金」を使用しています。